

専門教養  
令和7年7月  
60分

受験教科等  
高等学校商業

## 注 意

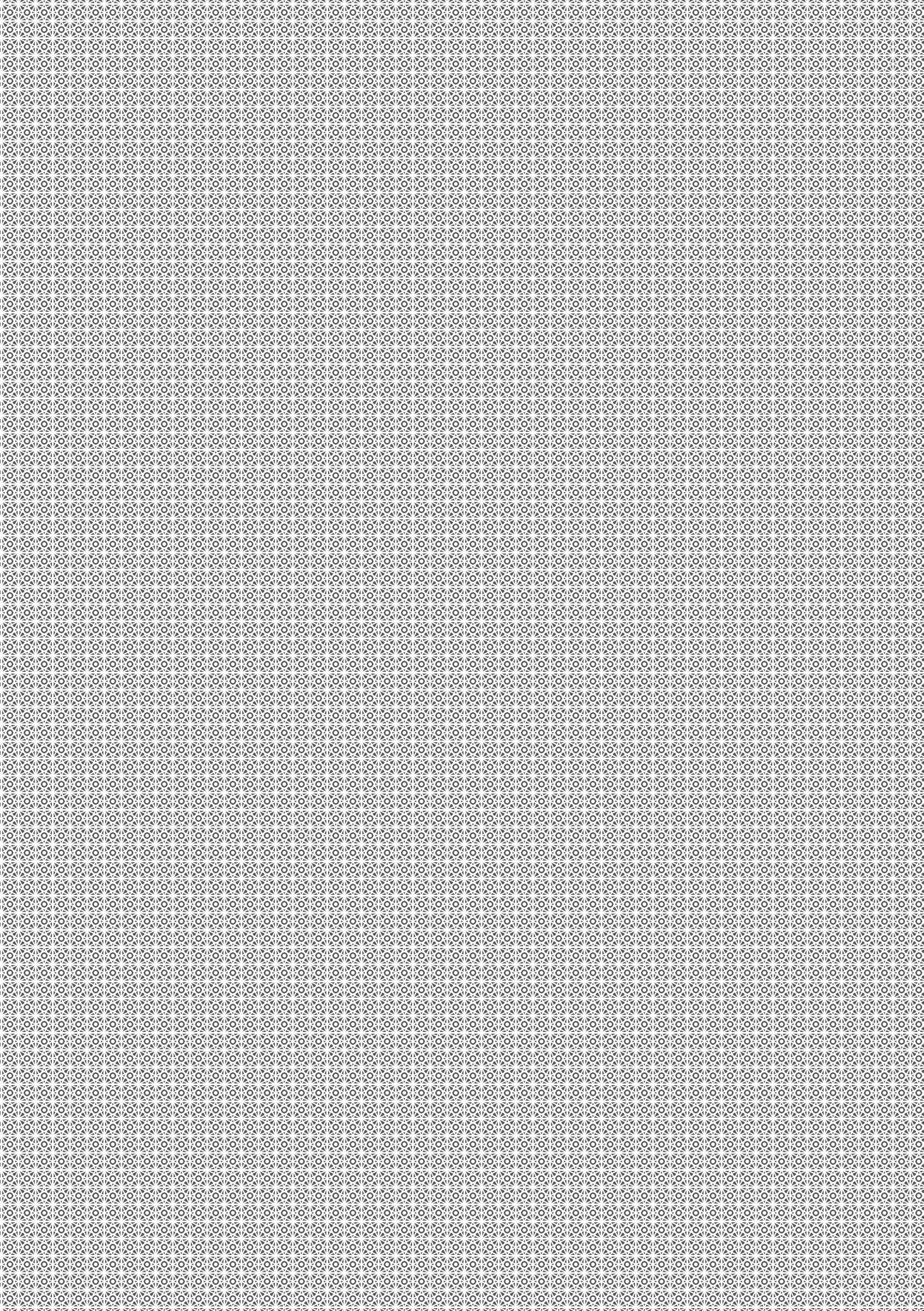
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、14ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合**には、**解答は全て無効となります**。解答用紙の**【1】**の欄には、受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマークしてください。**【2】**の欄には、氏名を記入してください。ただし、**【3】**の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤りとします。**
- 2 「解答番号は **【1】**。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 **【1】** の解答欄の③にマークしてください。

(例1)	解答番号	解答欄									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
				●							

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載しております。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



**1** 次の各間に答えよ。

[問 1] 高等学校学習指導要領商業の「各科目」の「ビジネス基礎」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 2 ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 3 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 4 ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようになる。

[問 2] 5年後に償還される3.8%利付社債の買入価格が¥95.20のとき、単利最終利回りの値[%]として最も適切なものは、次の**1～4**のうちではどれか。ただし、買入れた社債の額面金額は¥100.00とする。解答番号は **2**。

- 1 4.76
- 2 5.00
- 3 8.60
- 4 19.00

[問 3] ビジネスマナーの言葉遣いに関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1 「会う」の尊敬語は「会います」、謙譲語は「お会いになる」である。
- 2 「言う」の尊敬語は「言います」、謙譲語は「申し上げる」、「申す」である。
- 3 「行く」の尊敬語は「いらっしゃる」、謙譲語は「伺う」、「参る」である。
- 4 「見る」の尊敬語は「拝見する」、謙譲語は「ご覧になる」である。

[問 4] マーケティング環境の分析に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **4**。

- 1 3C分析とは、自社、顧客、競合の三つの視点から市場を分析する手法のことである。
- 2 PEST分析とは、企業がもつ強みと弱み、企業が置かれている環境の機会と脅威という四つの要素を軸に現状分析をおこなう手法のことである。
- 3 VRIO分析とは、マクロ環境の視点から分析する手法のことであり、マーケティングに影響を与える要因を政治的、経済的、社会的、技術的の四つに分類する。
- 4 SWOT分析とは、企業が保有する経営資源を分析する手法のことであり、価値、希少性、模倣可能性、組織の四つを分析する。

[問 5] 知的財産権に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **5**。

- 1 特許権とは、新しい機械や器具などを発明した場合、その発明を保護するための権利をいい、出願から50年間排他的な独占権をもつことができる。
- 2 実用新案権とは、物品の形状、構造又は組合せの方法によって実用的な商品を考案した場合、その考案を保護するための権利である。
- 3 意匠権とは、思想または感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術または音楽の範囲に属するものに与えられる権利である。
- 4 商標権は、商標を独占的に使用する権利であり、その商標の登録日から10年間保護され、更新することはできない。

[問 6] 物権に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **6**。

- 1 所有権とは、物を自由に使用し、収益し、処分することのできる権利であり、公共の福祉に適合するように法令の制限を受けることはない。
- 2 地上権とは、通行したり引水したりするなど、自己の土地の便益のために他人の土地を利用することのできる権利であり、地役権とは、建物などの工作物の築造、植林などのために、他人の土地を使用できる権利である。
- 3 抵当権とは、目的物を債務者又は第三者が占有したままで債権の担保とし、債務者が弁済期に弁済しない場合には、債権者がその目的物を競売して、その代金から他の債権者に優先して弁済を受けることができる権利である。
- 4 占有権とは、社会の秩序を維持するために、占有しているという事実状態を保護する権利であり、自分の所有物であっても他人が占有しているものを同意なく勝手に取り戻すことが許されている。

[問 7] 税に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **7**。

- 1 租税の原則のうち、公平の原則には、経済力が同等の人に等しい負担を求めるという垂直的公平と、経済力のある人により大きな負担を求めるという水平的公平が含まれる。
- 2 間接税とは、納税者と担税者が異なる税金であり、消費税やたばこ税、地方消費税が含まれる。
- 3 法人に課される税のうち、法人事業税とは、法人の事業活動により得た所得に対して課される国税である。
- 4 土地や家屋の購入、贈与、建築などで不動産を譲渡した場合、譲渡した者に課される税として不動産取得税がある。

[問 8] 次の資料は、A商店（決算年1回12月31日）に関するものである。A商店の未払消費税勘定の次期繰越高として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。ただし、消費税の処理方法については税抜き方式により記帳しており、消費税は年1回納付しているものとする。解答番号は **8**。

### 資料

① 11月30日における元帳勘定残高（一部）

仮払消費税 ¥ 40,000

仮受消費税 ¥285,000

② 12月中の商品売買に関する金額

売上高 ¥165,000（うち消費税額 ¥15,000）

仕入高 ¥110,000（うち消費税額 ¥10,000）

ただし、売上・仕入ともに返品、値引きは発生していない。

- 1 ¥240,000
- 2 ¥245,000
- 3 ¥250,000
- 4 ¥300,000

[問 9] 取引と仕訳に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  
9。

- 1 B商店は、得意先C商店が倒産し、C商店に対する売掛金100,000円を貸し倒れとして処理した。ただし、B商店の貸倒引当金勘定の残高は70,000円である。

(借方) 貸 倒 損 失 100,000 (貸方) 売 掛 金 100,000

- 2 D商店は、商品陳列ケース500,000円を購入し、代金は据付費50,000円とともに現金で支払った。

(借方) 備 品 500,000 (貸方) 現 金 550,000  
支払手数料 50,000

- 3 E株式会社（決算年1回12月31日）では、決算において、確定した税引前当期純利益について法人税・住民税及び事業税額が800,000円と計算された。なお、この金額から中間納付額350,000円を差し引いた金額を未払い分として計上した。

(借方) 法 人 税 等 800,000 (貸方) 仮払法人税等 350,000  
未払法人税等 450,000

- 4 F商事株式会社は、会社の設立にあたり、株式100株を1株50,000円で発行し、全額払い込みを受け、払込金額は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち10,000円は資本金に計上しないこととした。

(借方) 当 座 預 金 5,000,000 (貸方) 資 本 金 4,000,000  
利益準備金 1,000,000

[問10] 次の資料は、G物産株式会社の令和6年3月31日（年1回決算）の損益計算書の一部である。損益計算書（一部）中の空欄 **ア** に当てはまる金額〔円〕として適切なものは、以下の**1～4**のうちのどれか。なお、作問の都合上、空欄としている部分がある。解答番号は **10**。

### 資 料

#### 損 益 計 算 書 (一部)

G物産株式会社		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	(単位：円)
I 売 上 高			20,000,000
II 売 上 原 価			
1. 期首商品棚卸高		1,100,000	
2. 当期商品仕入高		<u>8,000,000</u>	
合 計		9,100,000	
3. 期末商品棚卸高		<u>1,300,000</u>	
		7,800,000	
4. 棚 卸 減 耗 損		<u>100,000</u>	( )
売 上 総 利 益			( )
III 販売費及び一般管理費			
1. 給 料		5,000,000	
2. 貸 倒 引 当 金 繰 入		10,000	
3. 保 險 料		500,000	
4. 雜 費		<u>100,000</u>	( )
営 業 利 益			( )
IV 営 業 外 収 益			
1. 受 取 利 息		30,000	
2. 仕 入 割 引		<u>80,000</u>	( )
V 営 業 外 費 用			
1. 支 払 利 息		120,000	
2. 為 替 差 損		<u>20,000</u>	( )
経 常 利 益			( <b>ア</b> )

- 1 6,460,000
- 2 6,520,000
- 3 6,660,000
- 4 6,720,000

[問11] 次の資料は、H商店（決算年1回12月31日）に関するものである。資料中の空欄

**ア** に当てはまる金額〔円〕として適切なものは、下の**1～4**のうちのどれか。ただし、利息は毎年同じ金額を4月末日と10月末日に経過した6か月分を現金で受け取っているものとする。なお、太字は赤字表記を表すものとし、作問の都合上空欄としている部分がある。解答番号は **11**。

### 資料

#### 未 収 利 息

1/1	前期繰越	12,000	1/1	受取利息	12,000
12/31	受取利息	( )	<b>12/31</b>	<b>次期繰越</b>	( )
		<u>( )</u>			<u>( )</u>

#### 受 取 利 息

1/1	未収利息	12,000	4/30	現 金	( )
12/31	損 益	( <b>ア</b> )	10/31	現 金	( )
		<u>( )</u>	12/31	未収利息	<u>( )</u>
					<u>( )</u>

**1** 12,000

**2** 36,000

**3** 60,000

**4** 72,000

[問12] 次の資料に示す取引を、移動平均法に基づいて下の材料元帳に記入するとき、資料中の空欄 **ア** に当てはまる金額 [円] として適切なものは、下の1~4のうちのどれか。なお、作問の都合上空欄としている部分がある。解答番号は **12**。

### 資料

#### 取引

6月1日 前月繰越 素材A : 200 kg @200 円

11日 素材A 300 kg を@250 円で受け入れた。

20日 素材A 400 kg を払い出した。

### 材料元帳

(移動平均法) 素材A 単位: kg

令和 7年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1 前月繰越	200	200	40,000				200	200	40,000
	11 受入	300	250	75,000				500	( )	( )
	20 払出				400	( )	( )	100	( )	( <b>ア</b> )

- 1 20,000
- 2 22,500
- 3 23,000
- 4 25,000

[問13] 次の資料は、個別原価計算を採用しているI工業株式会社に関するものであり、補助部門費の各製造部門費勘定への振り替えには、直接配賦法を用いている。資料中の空欄 **ア** に当てはまる金額〔円〕として適切なものは、下の**1～4**のうちのどれか。なお、作問の都合上空欄としている部分がある。解答番号は **13**。

### 資料

部門費合計	第1部門	300,000円
	第2部門	280,000円
	動力部門	67,000円
	修繕部門	53,000円
	工場事務部門	44,000円

### 補助部門費配賦基準

補助部門費	配賦基準	製造部門		補助部門		
		第1部門	第2部門	動力部門	修繕部門	工場事務部門
動力部門費	kW数×運転時間数	20kW×400時間	15kW×360時間	—	10kW×335時間	—
修繕部門費	修繕回数	15回	10回	8回	—	7回
工場事務部門費	従業員数	30人	25人	11人	11人	11人

仕訳 (借方) 第1部門費 ( <b>ア</b> ) (貸方) 動力部門費 67,000
第2部門費 ( ) 修繕部門費 53,000
工場事務部門費 44,000

- 1** 87,800
- 2** 83,875
- 3** 86,800
- 4** 95,800

[問14] 次の資料は、標準原価計算を採用しているJ製作所に関するものである。当月における次の資料から、原価差異の金額として適切なものは、下の1~4のうちのどれか。ただし、直接材料は製造着手のときに全て投入されるものとする。解答番号は **14**。

### 資料

#### ① 標準原価カード

K製品			
標準原価カード			
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥100	5 kg	¥500
	標準賃率	標準直接作業時間	
直接労務費	¥1,200	2時間	¥2,400
	標準配賦率	標準直接作業時間	
製造間接費	¥1,500	2時間	¥3,000
製品1個あたりの標準原価			¥5,900

#### ② 当月の生産データ

月初仕掛品	100個 (加工進捗度60%)
当月投入	1,000個
合計	1,100個
月末仕掛品	200個 (加工進捗度40%)
完成品	900個

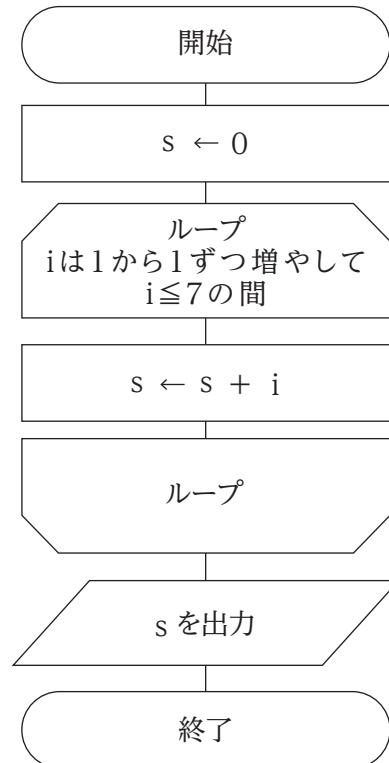
#### ③ 当月製造費用の実際発生額

直接材料費 520,000円    直接労務費 2,300,000円    製造間接費 2,800,000円

- 1 ¥ 40,000 (有利差異)
- 2 ¥152,000 (不利差異)
- 3 ¥192,000 (不利差異)
- 4 ¥280,000 (有利差異)

[問15] 次の流れ図において、出力されるsの値として適切なものは、下の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **15**。

流れ図



- 1** 7
- 2** 21
- 3** 28
- 4** 36

[問16] 通信速度が500Mビット/秒の通信回線を用いて、1,000Mバイトのデータを20秒で転送できるとき、この通信回線の伝送効率の値 [%] として最も適切なものは、次の**1～4**のうちではどれか。ただし、その他の外部要因は考えないものとし、1 Mバイト=10<sup>6</sup>バイトとする。解答番号は **16**。

- 1** 10
- 2** 40
- 3** 60
- 4** 80

[問17] 表示解像度が 1,920×1,080 ドットで、色数が2<sup>16</sup>色の画像を表示するのに最低限必要なビデオメモリ容量の値 [Mバイト] として最も適切なものは、次の**1～4**のうちではどれか。ただし、1 Mバイト=10<sup>6</sup>バイトとする。解答番号は **17**。

- 1** 4.15
- 2** 6.22
- 3** 8.29
- 4** 12.4

[問18] 情報セキュリティに関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **18**。

- 1** ファイアウォールのうち、パケットフィルタリング型は、OSI参照モデルのアプリケーション層において、パケットのデータの中身までを検査して制御を行うものである。プロキシサーバなどに用いられ、Web アプリケーションの脆弱性を利用した攻撃からも保護できる。
- 2** IPSとは、システムやネットワークをリアルタイムで監視し、外部からの不正なアクセスがある場合やその兆候が確認できた場合に管理者に通知するシステムのことであり、防御はできない。
- 3** WAFは、Web アプリケーションの保護に特化したファイアウォールである。攻撃とみなされるパターンを登録することで該当する通信を遮断するブラックリスト方式と、正常とみなされる通信のみを通過させるホワイトリスト方式がある。
- 4** UTMとは、インターネットと内部ネットワークの中間に設置されるネットワーク領域のことであり、内部ネットワークを保護するために設置される。

[問19] 次の表は、表計算ソフトウェアで作成された成績表と評定分布表であり、評定分布表は成績表の評定ごとの人数を集計したものである。表中のF 3に入る式として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。ただし、F 3の式をF 4からF 7までコピーするものとする。解答番号は **19**。

表

	A	B	C	D	E	F	G
1	成績表			評定分布表			
2		学籍番号	評定		評定	人数	
3		1001	4		5	4	
4		1002	5		4	5	
5		1003	2		3	5	
6		1004	3		2	5	
7		1005	4		1	1	
8		1006	4				
9		1007	3				
10		1008	2				
11		1009	2				
12		1010	2				
13		1011	4				
14		1012	2				
15		1013	3				
16		1014	3				
17		1015	5				
18		1016	3				
19		1017	5				
20		1018	1				
21		1019	4				
22		1020	5				
23							

- 1 =COUNTA(\$C\$3:\$C\$22,\$E3)
- 2 =COUNTA(\$C\$3:\$C\$22,E\$3)
- 3 =COUNTIF(\$C\$3:\$C\$22,\$E3)
- 4 =COUNTIF(\$C\$3:\$C\$22,E\$3)

[問20] 次の編集画面は、生徒が授業で作成した、あるマクロ言語によるプログラムを示したものである。このプログラムで用いられているアルゴリズムとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。ただし、編集画面の一番左に表示してある数字は行番号である。解答番号は **20**。

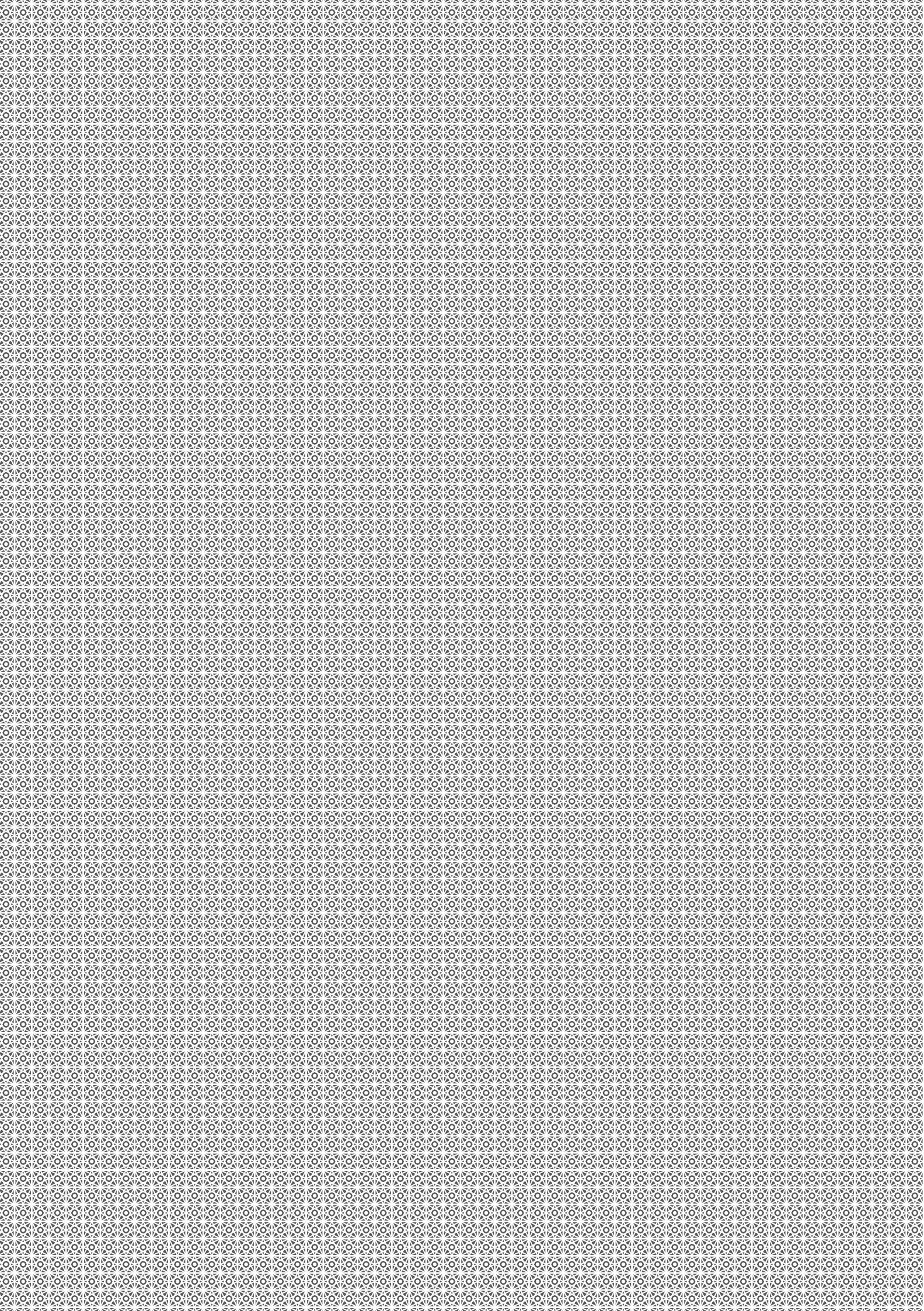
編集画面

```
1 Sub Mondai_20()
2     Dim mnoT(4) As Integer
3     mnoT(0) = 100
4     mnoT(1) = 101
5     mnoT(2) = 102
6     mnoT(3) = 103
7     mnoT(4) = 104
8     Dim code, high, low, mid As Integer
9     code = 103
10    high = 4
11    low = 0
12    mid = Int((high + low) / 2)
13    Do While mnoT(mid) <> code
14        If mnoT(mid) > code Then
15            high = mid - 1
16        Else
17            low = mid + 1
18        End If
19        mid = Int((high + low) / 2)
20    Loop
21    Debug.print (mid)
22 End Sub
23
```

- 1 クイックソート
- 2 選択ソート
- 3 線形探索
- 4 二分探索







3 問題文中の **[2]**、**[3][4]** などの **[ ]** には、数字又は符号 (−) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) **[2]**、**[3]**、**[4]**、……の一つ一つは、それぞれ 1~9、0 の数字又は符号 (−) のいずれか一つに対応します。それらを **[2]**、**[3]**、**[4]**、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、**[2][3][4]** に −84 と解答する場合には、次の（例 2）のようにマークします。

解答番号	解答欄
<b>[2]</b>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<b>[3]</b>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ −
<b>[4]</b>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −

なお、同一の問題文中に **[2]**、**[3][4]** などが 2 度以上現れる場合、原則として、2 度目以降は、**[2]**、**[3][4]** のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{[5][6]}{[7]}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$  として、次の（例 3）のように

マークします。

解答番号	解答欄
<b>[5]</b>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<b>[6]</b>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −
<b>[7]</b>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで ⑩ にマークしてください。

例えば、**[8][9][10]** に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

大問	問題番号		解答番号	正答	配点	備考
	小問					
1	問1		1	1	5	
	問2		2	2	5	
	問3		3	3	5	
	問4		4	1	5	
	問5		5	2	5	
	問6		6	3	5	
	問7		7	2	5	
	問8		8	3	5	
	問9		9	3	5	
	問10		10	1	5	
	問11		11	4	5	
	問12		12	3	5	
	問13		13	4	5	
	問14		14	2	5	
	問15		15	3	5	
	問16		16	4	5	
	問17		17	1	5	
	問18		18	3	5	
	問19		19	3	5	
	問20		20	4	5	